



2022年12月22日発行

スポーツ史学会事務局

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

十文字学園女子大学

神田研究室内

TEL : 048-260-7656

E-mail : s-kanda@jumonji-u.ac.jp

<http://sportshistory.sakura.ne.jp/>

I. 事務局報告

1. 会況報告(2022年11月30日現在)

1) 会員総数227名

(正会員206名、学生会員21名)

賛助会員1機関2名

2) 会費納入状況

2022年度納入者数 149名

2021年度納入者数 209名

2020年度納入者数 224名

3) 今年度会費収入総額 1,366,000円

2. 会費納入のお願い

今年度会費(正会員8,000円、学生会員5,000円、賛助会員一口10,000円以上)の納入はお済みでしょうか。未納の会員は下記まで納付をお願いいたします。

会則第9条により、3年を越えて会費を未納の場合には、会員資格を喪失することになります。また、2年間会費未納の場合には一部会員サービスを停止させていただきます。なお、会費納入状況等についてのご質問がある場合は、事務局までお問い合わせ下さい。

郵便振替口座 : 00940-7-282457

加入者名 : スポーツ史学会

3. スポーツ史学会第36回大会の開催

本年度の学会大会は12月3日(土)~4日(日)に、奈良教育大学において開催されました(井上邦子会員)。

第1日目は6題の一般研究発表がありました。

第2日目は、5題の一般研究発表があり、続いてシンポジウム「生きる」から問うスポーツ—感染症の時代の身体—が開催されました。井上邦子会員の司会のもと、西谷修氏(東京外国語大学名誉教授:現代思想)、福岡伸一氏(青山学院大学教授:分子生物学)の2名にご登壇いただき、フロアからの質疑応答も含めて活発な議論が展開され、盛会のうちに終了しました。終了後、総会が開催されました。

4. 令和4年度総会について

令和4年度総会が次の通り開催されました。

期 日:12月4日(日) 16時30分~17時30分

会 場:奈良教育大学

0. 学会賞表彰

総会に先立ち、以下の通り学会賞表彰が執り行われました。

令和4年度スポーツ史学会「学会賞」表彰

著 者: 藪 耕太郎 会員(仙台大学)

題 目:『柔術狂時代—20世紀初頭アメリカにおける柔術ブームとその周辺—』令和3年12月発行(朝日新聞出版)

矢野選考委員長より、本年度の学会賞及び奨励賞(奨励賞は該当なし)について報告の後、松本会長より藪会員へ学会賞が授与されました。その後、藪会員より

学会賞受賞の挨拶をいただきました。

1. 会長挨拶

2. 議長選出

三井悦子会員が議長に選出されました。

3. 報告事項

1) 会況報告

事務局より、2022年8月31日現在の会況について報告されました。

2) 令和4(2022)年度 事業・会計中間報告

事務局より総会配布資料に基づいて、今年度の事業・会計中間報告が行われました。

3) 令和4(2022)年度役員選挙の結果について

選挙管理委員会委員長より、令和4(2022)年度役員選挙の結果について報告がありました。

4) 編集委員会報告

編集委員長より、『スポーツ史研究』第36号を今年度末発刊予定で編集を行っていること、その際、巻末に「会員活動報告」を掲載するため「学会だより」(147号)に用紙を同封するので、記入の上、返送願いたい旨、報告がありました。

5) 会報『ひすぼ』について

理事長より、112号の発送遅れについての説明及び、113、114号は年度内に発行する予定である旨報告がありました。また、1月末がメ切的114号について投稿のお願いがありました。

6) 次期学会大会について

企画担当理事より、第37回大会については理事会で協議の結果、東海学園大学(木村華織会員)で開催することが決定し、会期は、2023年11月末もしくは12月初頭の予定である旨報告があり、続いて木村会員より当番校の挨拶がありました。

7) メーリングリストの運用開始と会員情報の集約について

理事長より、メーリングリストについて、今後運用を適宜開始して予定である旨報告がありました。

4. 審議事項

1) 令和3(2021)年度 事業・決算報告について

事務局より、事総会配布資料に基づき、事業・決算報告について原案が示され、審議の結果、原案通り承認さ

れました。

2) 令和5(2023)年度 事業・予算案について

事務局より、総会配布資料に基づき、令和5(2023)年度の事業計画案、予算書案、学会活動準備金収支予算書案について、原案が提示され、審議の結果、原案通り承認されました。

3) その他

新規事業となる「スポーツ史学会研究助成」について、配布資料に基づいて説明があり、条文の一部を修正提案し、審議の結果、承認されました。なお、令和5(2023)年度の事業の開始と規程の適正化は引き続き検討する旨、確認されました。

5. 閉会の挨拶

5. 会議の開催

以下の会議が開催されました。

【理事会】

第162回 2022年12月4日(奈良教育大学)

第163回 2022年12月4日(奈良教育大学)

【総会】

令和4年度総会 2022年12月4日(奈良教育大学)

6. 日本学術会議刊行物

月刊『学術の動向』2022年10～12月号が事務局に届いています。目次のコピーを同封いたしますので、関心をお持ちの方はご連絡ください。

なお、特集記事は<http://www.scj.go.jp> からも閲覧可能です。

7. 「会員活動報告」の連絡について

『スポーツ史研究』第36号の巻末に掲載する「会員活動報告」の用紙を同封しますので、令和4(2022)年の研究活動報告(「修士・博士論文報告」は令和2年度を含む)をご記入のうえ、2023年1月31日までに事務局まで提出(メール送信で構いません)下さいますようお願いいたします。

8. スポーツ史学会学会賞の推薦について

令和5年度スポーツ史学会学会賞の候補論文(著書)の推薦依頼書を同封しますので、ふるってご推薦

下さい。学会賞、奨励賞ともに、所属機関の異なる2名以上の会員の連名で推薦することができます。推薦の際には、応募書式(推薦書式)に沿って作成した推薦書を、2023年2月末日までに事務局にご提出下さい。

今回は2022年1月1日から12月31日までに刊行された『スポーツ史研究』、その他の学術雑誌の論文および学術的著書が対象となります。著者(ファースト・オナー)が本学会員で、内容がスポーツ史に関連するものに限られます。

9. スポーツ史学会研究助成の開始について

令和5(2023)年度より、スポーツ史研究の活性化及び研究の質の向上に寄与することを目的に研究助成を開始します。募集の詳細につきましてHP、メーリングリスト、及び郵送にてお知らせしております。ふるってご応募ください。

10. スポーツ史学会30周年記念誌の献本

2017年度にスポーツ史学会30周年記念誌『スポーツ史研究の未来』が完成し、会員の皆様にお届けしました。

事務局に若干の余部がございます。ご希望の会員にお分けしますので、事務局までご連絡ください。送料は事務局で負担いたします。

11. スポーツ史学会第36回大会について

第37回大会は、以下の通り開催予定です。

期 日： 2023年11月末～12月初頭予定

会 場： 東海学園大学

第37回大会担当： 木村華織 会員

12. メーリングリスト作成および会員情報の集約について

現在、スポーツ史学会ではメーリングリスト作成及び会員情報の集約を行っています。一部サービスをe-mailにて試行いたしますので、未登録の方は、本年12月末日までに、下記のいずれかの方法で会員情報をご登録下さい。

1) QRコードを読み取りGoogle Formsに入力



2) 本学会だよりと同封の「会員情報登録用紙」に入力した情報を事務局にe-mailで送信ないし郵送(登録内容をメール本文に記載して事務局にe-mailで送信する方法でも受け付けます)

3) スポーツ史学会HPから登録フォーム(Google Forms)に入力

II. 理事会報告

第162回理事会

第162回理事会が次の通り開催されました。

期 日： 12月4日(日) 12時30分～13時45分

会 場： 奈良教育大学

出席者：松本芳明(会長)、瀧元誠樹(理事長)、鶴木千加子、井上邦子(学会大会担当)、佐々木浩雄、林郁子、矢野裕介、松浪稔、神田俊平(事務局)

欠席者：市場俊之、谷釜尋徳

議長：瀧元誠樹

1. 議事録確認

1) 第161回理事会議事録の確認

2. メール審議

1) 新規入会について

2) 新規入会について

3) 第161回理事会議事録の承認について

4) 新規入会について

5) ひすば114号特集テーマについて

6) 会員の種別変更について

3. 報告事項

1) 会況報告

2) 役員選挙の結果

3) 「スポーツ史研究」第36号の編集進捗状況

4) 「ひすば」進捗状況

5) 次期学会大会(第37回)について

6)その他

4. 審議事項

- 1)2022年度総会の進行について
- 2)年間計画について
- 3)その他

5. その他

第163回理事会

期 日：2022年12月4日(日) 17:30～19:30

場 所：奈良教育大学

出席者：松本芳明(会長)、松浪 稔(理事長)、鶴木千加子、佐々木浩雄、中房敏朗、新名佐知子、松本彰之、木村華織(学会大会担当)、神田俊平(事務局)

欠席者：谷釜尋徳、池田恵子

議長：松浪 稔

1. 審議事項

- 1)会務及び委員会分掌(資料1)
- 2)年間計画について(資料2)
- 3)その他

2. 報告事項

- 1)次期学会大会について
- 2)その他

Ⅲ. 編集委員会報告

1. 『スポーツ史研究』への投稿

現在、2023年3月発行予定の第36号の編集作業を進めております。

『スポーツ史研究』への投稿は随時受け付けております。投稿規程ならびに執筆要領は『スポーツ史研究』の見開き及び学会ホームページに掲載されていますので、投稿前に必ずご確認下さい。

投稿先は、次の通りです。

〒658-8501

兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学 全学共通教育センター 鶴木研究室

スポーツ史研究編集委員会 宛

ikarugi@konan-u.ac.jp

Ⅳ. 会報『ひすぼ』報告

1. 『ひすぼ』特集テーマの募集について

現在、第115号以降の特集テーマを募集していますので、事務局までお寄せください。皆様からの積極的なご提案をお待ちしております。

Ⅴ. 会員の動向

1. 入会・退会・種別変更

<種別変更>

次の方の会員種別変更が承認されました。(敬称略)
藤井 英嘉 (正会員→賛助会員)(2022年11月10日付)

2. 所属変更について

所属、連絡先住所等に変更があった場合には、必ず事務局までご一報ください。**所属変更、連絡先の変更がないまま住所不明になる会員もいらっしゃいます。**

なお、会員の皆様への諸連絡を円滑にするために、**メールアドレスに変更があった方は、必ず事務局までお知らせ下さい。**

3. 会員資格の喪失と退会について

スポーツ史学会会則第9条に則り、3年間会費未納の方は、会員資格を喪失します。

現在、4名の方が、2020年度以降の年会費未納となっております。2022年度末で会員資格を喪失することになりますので、該当する会員は至急会費の納入をお願いいたします。

また、会員が本学会を退会する際には、会員であった期間の会費を納入していただいたからの退会承認となります。

大学院を修了し、研究活動を継続せず退会する場合は、退会手続(事務局へご連絡ください)を忘れずにしてください。退会手続が遅れると、次年度の会費が発生します。学生会員の推薦者となった会員の先生も、この点にご留意いただき、ご指導をお願いいたします。特に留学生の帰国の際に、会員継続の意思がない場合は退会手続を忘れずにお願いいたします。